

# ひょうご持続可能地域づくり 実践者育成講座

サステナビリティ オーガナイザー(持続可能地域士)育成

Sustainability Organizer

## 第1期生募集

近年、再生可能エネルギーの導入や省エネルギー推進の取組や事業は、地域づくりにおいて欠かせないものとなっています。一方、地域の特性や資源等を活用し、地域課題を解決していくためには、幅広い知識や知見(エネルギー・金融・先進技術・関係法制度・経営等)とネットワークが必要です。

そこで、環境省モデル事業の全国3地区の1つとして、但馬地域を舞台に、「自ら事業化立案・推進」し、「地域へ波及効果のある取組を実践・支援する」力を持った人材・チームを育成する講座を開講します。ぜひ、ふるってご応募ください。



- 【講座期間】平成27年10月～平成28年度
- 【講座会場】兵庫県立大学「豊岡ジオ・コウノトリキャンパス」または豊岡市役所稽古堂等豊岡市内
- 【募集人数】20名程度
- 【受講料】無料
- 【対象者】参加要件①、②を満たす方で、下記に当てはまる方。

- ・工務店、設備事業者、林業事業者等再生可能エネルギー導入、省エネルギー推進に関連の深い事業者や環境NPO
- ・金融機関、中小企業診断士などの地域事業者の中間支援を行っている事業者
- ・再生可能エネルギー導入、省エネルギー導入事業の立ち上げに関心があるととも、地域内の事業者支援等の地域への貢献へ関心がある事業者 など

### 参加要件①

但馬地域(豊岡市、養父市、朝来市、香美町、新温泉町)内に居住、通勤・通学している方(地方公共団体正規職員除く)  
※なお、地方公共団体正規職員については、聴講生およびメンターとして若干名参加を受け付けますので、事務局に参加希望をご連絡ください。

### 参加要件②

メールでの連絡が可能な方

【応募締切】平成27年10月3日(土)必着



## 修了後 (平成28年度ステップアップ講座受講後)の活躍イメージ

- 一定の要件をクリアした受講生へ、機構(HsO)にて「サステナビリティ オーガナイザー(持続可能地域士)として認定し、認定証書を発行します。
- 2年目および認定後は、具体化に向けた支援を機構(HsO)が行います。具体的には、取組のステップアップのための支援やネットワークを広げる交流会や情報提供等を行う予定です。
- 地域や次期講座でのメンターとして地域の取組支援を行います。

## サステナビリティ オーガナイザー(持続可能地域士)認定要件

以下、全てを満たした方を認定します。なお、欠席せざるをえない場合も欠席者への講義ビデオの貸出や資料提供によりサポートします。さらに、出席数が5割以上とならない方は、次年度以降開催予定の講座を受講し、複数年通うことで、認定を受けることが可能です。

- 要件① 実際の講義への出席5割以上
- 要件② フォロー形式(ビデオ貸出、考査・宿題提出)による講義全回受講
- 要件③ チームでの事業企画立案プレゼンテーション実施

## お申込・お問い合わせについて

締切:平成27年10月3日(土)必着

- 応募方法:応募書類をホームページ<http://hso-t.com/>よりダウンロードし、下記申込先へメールで送付ください。
- 選考方法および結果の通知: 機構(HsO)にて、地域性、公益性、実現性等から応募資料に基づき選考を行います。受講の可否については、10月12日頃に通知を行います。

【申込・問合せ先】ひょうご持続可能地域づくり人材育成機構(HsO) 事務局 担当:戸田、中川、坊  
(株)地域計画建築研究所(アルバック)内 E-mail: office@hso-t.com  
Tel: 06-6942-5732 Fax: 06-6941-7478(電話での問い合わせは平日9時30分～18時まで)

## ひょうご持続可能地域づくり人材育成についてのメッセージ

兵庫県は、地域力で創る環境先導社会“豊かで美しいひょうご”を目指しています。この度、全国モデルとして、但馬地域で再生可能エネルギー・省エネルギーの導入に向けた人材育成講座がスタートします。この講座で幅広い知識と実践手法を学んだ皆さんが、ひょうごの環境づくりの強力な担い手として活躍されることを期待します。

兵庫県環境部長 梅谷 順子

コウノトリが悠然と舞うまちで、再生可能エネルギーや省エネルギーの専門知識と事業化について学ぶ。地域の環境と経済を支える人材育成プログラムがスタートします。自然に対し、無理なく素直に適合するような暮らしづくりを創りながら、同時に地域経済を活性化する。環境と経済の共鳴を図る挑戦に皆様の参加を期待しています。

豊岡市長 中貝 宗治

21世紀はエコの時代です。エコはエコロジーであり、エネルギー問題もエコロジカルに捉えねば、人と自然の共生は達成することができません。エネルギーは人の社会と文化を支えると共に、生きものとしてのヒトを支えています。生きもの感覚を保ちながら、エネルギー問題を捉え、持続可能な地域を創る。そのような場を共有してみませんか。

兵庫県立大学大学院地域資源マネジメント研究科 研究科長・教授  
江崎 保男

本機構では、人類が直面している21世紀最大の課題「環境問題」と「エネルギー問題」に対して、幅広い知識・知見とネットワークを持ち、地域で実行に導く優秀な人材の育成をめざしています。老子の「上善水如」という言葉のように、自然の摂理に従った、最善すなわち持続可能な地域づくりに立ち上がってみませんか? 意欲に燃えた皆さんの挑戦を期待しています。

機構代表理事 畑中 直樹  
(株)地域計画建築研究所(アルバック)取締役大阪事務所副所長

## 主催:ひょうご持続可能地域づくり人材育成機構(HsO)

兵庫県、豊岡市、兵庫県立大学、(株)地域計画建築研究所(アルバック)  
事業パートナー:豊岡商工会議所、豊岡市商工会、(株)但馬銀行、但馬信用金庫、NPO法人コウノトリ市民研究所、NPO法人暮らしのエコをすすめる但馬の会

### 【理事】

- ・井上 隆俊 豊岡市 環境経済部長
- ・江崎 保男 兵庫県立大学大学院地域資源マネジメント研究科 研究科長・教授  
兵庫県立コウノトリの郷公園 統括研究部長

・畑中 直樹 (株)地域計画建築研究所(アルバック)取締役 大阪事務所副所長\*代表理事

### 【監事】

- ・濱西 喜生 兵庫県農政環境部 環境創造局長

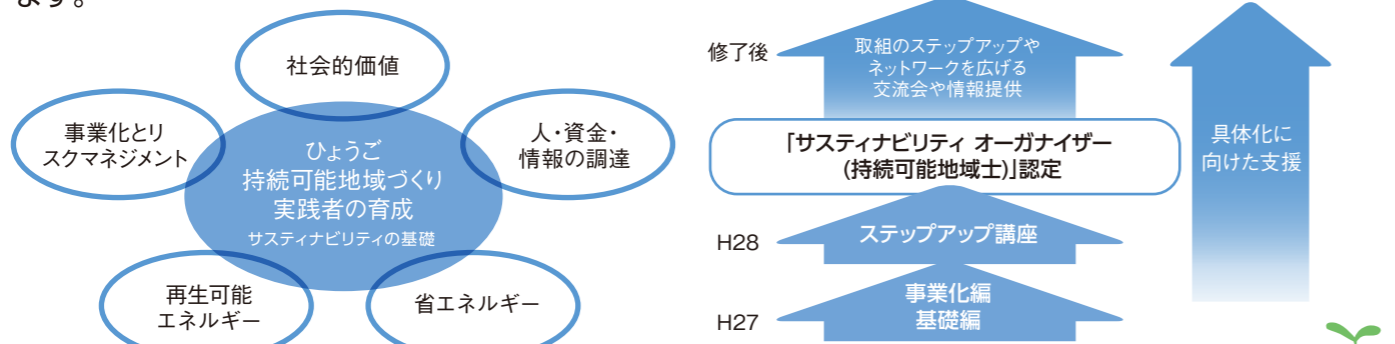


主催:ひょうご持続可能地域づくり人材育成機構(HsO)



## 講座概要

持続可能な地域づくりやエネルギー、事業化に関する幅広い知識の習得と事業化の組み立ての実践を行います。



## Program

### プログラム(※タイトル仮)

<b>【開校式】</b> 平成27年10月29日(木) 15時～17時 豊岡市役所稽古堂 3F交流室3-1	1. 開講式 2. 講座ガイダンス(事務局より) 3. 受講生自己紹介 4. エネルギーとエコロジー:持続可能な地域づくりの基礎 江崎 保男 氏 機構理事(兵庫県立大学大学院地域資源マネジメント研究科 研究科長・教授)
<b>基礎編:6コマ(1コマ2時間)</b>	
平成27年11月4日(水) 15時～17時 兵庫県立大学 「豊岡ジオ・コウノトリキャンパス」	事業化の基礎知識と地方創成時代に求められる事業ポイント <b>事業化</b> 事業構築の際の基礎知識/リスクマネジメント/今後求められる視点 など 大久保 和孝 氏 新日本有限責任監査法人 シニアパートナー/公認会計士・公認不正検査士
平成27年11月11日(水) 15時～17時 兵庫県立大学 「豊岡ジオ・コウノトリキャンパス」	再生可能エネルギーの基礎と事業化(電気編) <b>再エネ</b> 技術の基礎/関係法令、施策/優良事例や事業計画の際のよくある落とし穴 など 竹尾 敬三 氏 関西広域小水力協議会 理事/アサント環境研究所代表
平成27年12月2日(水) 15時～17時 兵庫県立大学 「豊岡ジオ・コウノトリキャンパス」	再生可能エネルギーの基礎と事業化(熱編) <b>再エネ</b> 技術の基礎/関係法令、施策/優良事例や事業計画の際のよくある落とし穴 など 谷淵 庸次 氏 NPO法人森と地域・ゼロエミッションサポート倶楽部理事/高山バイオマス研究所代表
平成27年12月17日(木) 15時～17時 豊岡市役所稽古堂	地域に適合した省エネ・ゼロエネ住宅 <b>省エネ</b> 基礎知識/関係法令、施策/良さを伝えるための評価手法/先進事例 など 近本 智行 氏 立命館大学 理工学部建築都市デザイン学科 教授
平成28年1月13日(水) 15時～17時 兵庫県立大学 「豊岡ジオ・コウノトリキャンパス」	低炭素社会を取り巻く国内外の最新動向と取組への展開 <b>省エネ</b> 国際・国内動向/最新の注目施策(緑の贈与制度等)/家庭や地域での展開 など 松尾 雄介 氏 公益財団法人地球環境戦略研究機関(IGES)グリーン経済領域 副エリアリーダー/ Japan-CLP事務局 エグゼクティブディレクター
平成28年1月20日(水) 15時～17時 兵庫県立大学 「豊岡ジオ・コウノトリキャンパス」	地域に役立つ事業の作り方と社会資源の活用 <b>事業化</b> 事業・取組の起こし方/調査分析手法/人材・資金・情報の調達方法 など 戸田 幸典 氏 公益財団法人京都地域創造基金理事/ ひょうご持続可能地域づくり人材育成機構(HsO)事務局長
<b>事業化編:視察&amp;合宿(1泊2日)+演習5コマ+ステップアップ講座5コマ(1コマ2時間)</b>	
平成27年1月下旬 ※受講生の希望を考慮し設定	先進地視察と合宿
平成28年 2月3日、10日、17日、24日 3月2日を予定 (水曜15～17時)	グループワークによる事業化立案 ・関心のあるテーマでグループ分けを行い、事業計画を組み立てます。 ・演習では、地域に根ざした実践者の専門家がメンターとしてサポートします。 ・事業計画組み立ての際に、より専門的に深めたいテーマについては、講師をお招きして、座学の講座を提供します。 ・最終回は、講師や機構メンバー等へのプレゼンテーションを行います。
平成28年4月以降 (5コマ程度想定)	ステップアップ講座 ・平成27年度検討した企画をブラッシュアップします。 ・より専門的に深めたいテーマについては、講師をお招きして、座学の講座を提供します。

※内容はいずれも予定。

## 講師プロフィール

現場での事業化支援経験等の実績がある全国のトップランナーの専門家の方々を講師にお迎えします。また、事業化編については、受講生の深く学びたいテーマを考慮し、講師の選定を行います。

### ●大久保 和孝氏 新日本有限責任監査法人 シニアパートナー/公認会計士・公認不正検査士



1973年東京都生まれ、慶應義塾大学卒。政府における行政改革・規制改革に関与。政府関係での役職には、厚生労働省年金特別会計公共調達委員会委員長、内閣官房行政改革推進会議歳出改革ワーキンググループ構成員、国土交通省航空局コンプライアンスアドバイザー委員会委員、内閣府行政刷新会議公共サービス改革分科会構成員、文部科学省公的研究費の適正な管理・監査に関する有識者会議委員など。また地方自治体としては、大阪府・長野県・宮崎県日南市・北海道夕張市・京都府京丹後市・宮城県気仙沼市・岩手県釜石市の参与等アドバイザーに複数就任し、地域再生、地方活性化などの支援を多数手がける。その他、早稲田大学・京都大学・横浜国立大学等の非常勤講師を歴任。

### ●竹尾 敬三氏 関西広域小水力協議会理事/アサント環境研究所代表



1955年大阪生。1975年大阪府立大学工業高等専門学校機械工学科を卒業し、1977年大阪府農業大学校(現大阪府農林技術センター)での研修終了後、国際協力事業団(現JICA)青年海外協力隊にてケニア国に派遣され、1981年の帰国まで稲作指導を行う。帰国後、JICAでの中期研修を終えたのち、株式会社丸島アクアシテムで小水力発電装置や水環境改善設備の開発を行うと共に、海外での水門等の設計及び現地設置指導等の業務に20年以上従事する。2005年にアサント環境研究所を設立し、代表となる。水景士、技術士(農業部門)、指定建設業管理技術者、1級土木施工監理技士、第1種電気工事士等の資格を有する。

### ●谷淵 庸次氏 NPO法人森と地域・ゼロエミッションサポート倶楽部理事/高山バイオマス研究所代表



1972年三重生れ、1996年に三重大学大学院生物資源研究科・生物生産工学修了。プラントメーカーを経て、高山バイオマス研究所を2005年に設立。JODCの木質バイオマスガス化専門家としてタイへ派遣、また地域での木質バイオマスボイラー導入にあたってのFS調査、簡易設計、事業者選定、監理支援等の事業化支援を行う。小型移動式クレーン、玉掛け、ガス溶断、乾燥設備作業主任者を取得。兵庫県下では、豊岡ベレットの立ち上げや豊岡市第1号ベレットボイラーの導入支援を行った。昨年度には、地元高山市にて木質バイオマスを利用したエネルギー販売会社「飛騨高山グリーンヒート合同会社」を有志と共に設立。

### ●近本 智行氏 立命館大学 理工学部建築都市デザイン学科教授



東京大学大学院博士課程修了。日建設を経て、立命館大学教授。立命館サステナビリティ学術センター、東京大学生産技術研究所研究員兼務。オフィス・住宅の環境・設備を専門とし、快適な暮らしとエネルギーを人体の生理や心理も含め研究。また風洞やCFDを使い、都市の風や建物の通風を研究。立命館グリーンビルディング・コンソーシアムを設立し、多くの企業と環境配慮技術を実際の研究棟に導入し、実証研究中。エネマネハウス2015では水再生・循環を交えたZEHを提案・検証。

### ●松尾 雄介氏 公益財団法人地球環境戦略研究機関(IGES)グリーン経済領域 副エリアリーダー/Japan-CLP事務局 エグゼクティブディレクター

三和銀行(現三菱東京UFJ銀行)、環境投資顧問の株式会社グッドバンカーを経て2005年より現職。2005年ルンド大学(スウェーデン)産業環境経済研究所修士課程修了(環境政策学修士) 気候変動問題と企業の関わりについて一貫して研究活動を実施。現在は日本の先進企業で形成され、低炭素社会を目指すJapan-Climate Leaders' Partnershipの事務局を務める。受賞歴:2010年度 エネルギー・資源学会 第14回茅奨励賞、環境省 第9回、第11回NGO/NPO・企業環境政策提言 最優秀賞

### ●戸田 幸典氏 公益財団法人京都地域創造基金理事/ひょうご持続可能地域づくり人材育成機構(HsO)事務局長



1980年生、立命館大学卒。2004年から(特活)きょうとNPOセンターで市民公益活動の社会基盤作りや自治体との協働によるNPO支援等に従事。2009年8月(公財)京都地域創造基金の事務局長に就任(2011年から専務理事兼務)。2015年3月の事務局長退任まで、市民が市民公益活動を支える仕組みづくりと地域社会の寄付文化醸成のための多様な事業展開、全国のコミュニティ財団の設立、運営支援や連携構築にも従事。現在も「きょうと元気な地域づくり応援連絡協議会委員」などソーシャルビジネス等への助成金の審査・選考委員も務める。京都府地域力再生活動アドバイザーや地域貢献型メガソーラーや人材育成、地域産業の創出などを行う非営利型株式会社PLUS SOCIAL取締役(2012年～2014年)を歴任。